

第3回「お茶飲み会」 を開きました！

1月のお茶飲み会はお正月明けと言うことで新年会を開きました。鍋を囲みながらおしゃべりも弾み、心も体も温まりました。

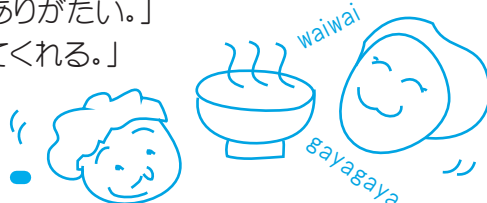
食べ終わってから、活動メンバーがおばあちゃんを誘って何曲も踊り、さらに体がほっかほか。笑いの絶えないひとときでした。今回は村長さんもおいで下さいました。



▲ いい男だね～と、おばあちゃん、村長さんご歓談

お茶飲み会の後には、居場所づくりの活動メンバーの交流が毎回あります。そこで川原畑でやっているお茶飲み会を、他の地区にも広げていきたいねという話をしました。「地区ごとに事情が違うので、それぞれの地区にあったやり方や場所でやるのが大切なのは。」
「自分の地区では活動メンバーが他にいないので、手伝いあえるとありがたい。」
「3月には、いちど自分の地域でお試してやってみたいので、手伝ってくれる。」
そんな意見が出ていました。

あなたの地区でも
お茶飲み会しませんか？



踊りも
出ました～



◀ 鍋の他にも
活動メンバー
の持ち寄りが
うれしい！



活動メンバ
の皆さん
いつも
お世話様です

勉強会に 参加しました

2月24日(木)山梨県立大学において「コミュニティカフェの活用」というテーマで講演会が行われました。その講演会に「世代を超えて安心して暮らせる村づくり」の「高齢者の居場所づくり」プロジェクトから川原畑・長又地区の活動メンバーが参加しました。

講演では、住み慣れた地域で安心して健康に過ごすために高齢者も障害者も子どもも気軽に集える場所が必要で、その一つにコミュニティカフェが全国的に取り組みされているという報告がありました。

道志村での「お茶のみ会」は、お年寄りが気軽に集まって話せる場所を目指して活動メンバーの支援によって始まりました。「お茶飲み会」はまさに、道志村流コミュニティカフェとして、お年寄りがより長く元気に過ごすことにつながる活動として必要なことだと感じました。

参加してくれるお年寄りの皆さんの感謝の声、笑顔に支えられながら、将来の自分のためにもこの活動に取り組んでいきたいと気持ちを新たにしました。

発行責任者:住民健康課 池谷力三
この事業は平成22年度予算の「高齢者福祉事業調査費」により村民・役場・委託事業者の協働作業で行われております。
〈お問い合わせ〉
道志村役場住民健康課 52-2113まで

編集後記:今年度の事業もあと1ヶ月となりました。全体会と3つのプロジェクトを同時進行しながらのスケジュールでしたが、活動メンバーの道志村を良くしたいの思いや、自分たちの力で何とかしたいという熱い心に、触れることができました。4月には報告会が予定されています。是非、村民の皆さんの参加を期待しています。(0m、Mm、Ns)

道志村未来通信 7



2011年3月1日新春発行

今までの活動を振り返ってみると…！

早いもので今年もはや3月に入り、3つのプロジェクトが動き始めて半年が経ちました。お茶飲み会は2月で4回目を迎えました。「郷土史を語る会」の皆さんが主体となって行ったどんど焼きの広報を応援し、当日はたくさんの方で賑わいました。一歩一歩、地道に活動の歩みを進めています。

今回は、見開きページに第5回ワークショップ(全体会議)で活動メンバーが話し合った今までの活動の評価や今後の活動についてお知らせします。(※移動手段の話は今回、事情により延期になりました。)

『世代を超えて安心して暮らせる村づくり』プロジェクト 今年度の歩みを振り返ってみます

- ★ プロジェクト1
お年寄りの生活支援～居場所づくり
第1回ミーティング:10/18(月) 19:00～
第2回ミーティング:11/ 1(月) 19:00～
第1回活動:11/17(水) 10:00～ うどんづくり(川原畑)
第2回活動:12/2(水) 13:00～ お茶のみ(川原畑)
第3回活動:1/26(水) 13:00～ 新年会(川原畑)
第4回活動:2/23(水) 13:00～ お茶飲み(川原畑)

- ★ プロジェクト2
移動手段のない子どもや高齢者の支援
～送迎や買い物代行
第1回ミーティング:10/28(木) 19:00～
第2回ミーティング:11/29(月) 19:00～
第1回活動:12/13(水) 15:00～ 路線バスのヒアリング

- ★ プロジェクト3
道志村のよさをPRし、
村民を増やすには
第1回ミーティング:10/15(金) 19:00～
第2回ミーティング:11/12(金) 19:00～
第1回活動:12/8(金) 19:00～ 広報記事の編集会議

全体会議 (ワークショップ)

プロジェクトを超えて全体に関わるテーマの勉強会や話し合い、各プロジェクトの進捗報告や情報交換を行いました。

- 第1回:7/14 22年度の活動計画
- 第2回:8/18 22年度の活動計画
- 第3回:9/29 22年度の活動計画
- 第4回:11/17 勉強会
〈テーマ〉コミュニティビジネス
- 第5回:1/19 活動の振り返り

報告会運営会議

- 第1回ミーティング:2/2
- 第2回ミーティング:2/25

★ご参加下さい！

みんなで語ろう！道志の未来 ～ありのままを伝え、集い、つなげよう

プロジェクトの活動報告の他に、道志村内で活動している団体の皆さんにもご参加いただき、道志村の未来を語り合いたいと思います。村づくりの生の声を聞いて下さい。

日時: 4/23(土)
第一部 食べるかい 12:00～
第二部 語ろうかい 13:30～
場所: やまゆりセンター 1階研修室

半年間活動して、 こんなことを感じました！

昨年10月から3つのプロジェクトの活動が始まり、半年が経ちました。去る1/19、第5回WS(全体会議)を開催し、でそれぞれ活動して分かったこと、感じたこと、今後のことについて話し合いました。

プロジェクト1 お年寄りの生活支援 ～居場所づくり

<今までの活動の評価>

■声かけの工夫

- ・はじめは家を回って、来てくれそうな人に説明していた
- ・お年寄りが会のことを忘れないよう、何回かに分けて声をかけた
- ・近くに住むメンバーが声をかけたのがよかった
- ・この人と呼ばば2~3人来てくれる、という人に声をかけるといい
- ・最初は「うどんづくりを教える」ということで声かけをした。

■お年寄りの感想

- ・1回目に来た人が2回目も来てくれて「次も来たい」と言っている。
- ・1回目よりも2回目のほうが参加者が多くてうれしかった。

■活動メンバーも楽しい?!

- ・活動メンバーのやる気がすごい!
- ・うどん作りを学んだので、年末に自分でも家でうどんを打った!

<悩み・心配事>

■来たいけど来られない人

- ・足の痛い人、来たいけど来られない人がいるのでは?
- ・少し足が痛いくらいの人については、支えてあげて来てもらった
- ・来てくれている人の中には、自分で靴を履くのが辛い人もいる

■参加費は適当か

- ・100円の参加費でまにあっている?→お茶のみならOK
- ・負担(活動メンバー、お年寄り)が多いと続かない。無理はしない方がよい。
- ・気持ちよく来てもらうための参加費でもある。
- ・持ち寄り負担になるということで参加費制にした。

■参加者同士の関係

- ・話が上手にできる人もいれば、そのり合わない人もいる
- ・これ以上声をかけて人数が増えると関係がこじれる? →活動メンバーがいることで話相手になれるので大丈夫では?
- ・年寄りだけの開催より、活動メンバーがいたほうがよい。

<どんな支援が必要か>

■移動手段

- ・遠足→バスが必要! 村のバス+運転手

■サポートメンバー

- ・活動メンバーが少ない地区でも「会」開催サポート
- ・移動手段も考えないと。

プロジェクト2 移動手段のない子どもや高齢者の支援 ～送迎や買い物代行

<今までの活動の評価>

- ・総務課でバスルートについての詳しい話をしていただけただけなのは、この会が評価されたからではないかと思う。

<悩み・心配事>

- ・バス増便の話は煮詰まっていらないのではないか?
- ・土日にバスがないのは、とにかく困る。
- ・診療所ではだれもバスを降りない。帰る時に乗るバスがあれば利用者も増えるのではないか。
- ・バスの増便は、とにかくやってみることがいいのではないか。
- ・送迎や買い物代行など、何事もただと使いにくい。きちんとお金を払うようにしたほうがいい。
- ・今まで出席していた人が参加しなくなり、少数になっていくことが心配。

<今後やりたいこと>

■小さな遠足

- ・お花見、花の都公園、慣れてきたら山中湖へも

■あせらず数を重ねていく

- ・お年寄りの友だち同士の会話の中で、会のことが広まっていくといいな
- ・だんだん、あせらず数をこなすことだね
- ・開催ペースは様子を見ながら考えたい

■おばあちゃん主体で開催?

- ・お年寄りが自分たちだけでやるのが理想的ではあるが、お茶を沸かしたりストーブを出すのも必要(しばらくは活動メンバーでやっていきたい)

■お年寄りのいいところを引き出したい

- ・社協企画を年2回ほどやるのはどうか? →社協の企画として行くと堅苦しくなるかも... 自分たちでやるからリラックスできる
- ・地区で集まるからこそ、リラックスしてお年寄りからもいろんな声を聞ける
- ・ふれあいサロンに来ないような人に来てもらうのがこの会
- ・お年寄りの良いところを引き出し、お年寄りから行動を起こしてもらいたい。

■他地区への広げ方

- ・地区ごとにやって、「どんな風にうまくいっているか」など、情報交換できると良い。
- ・はじめは参加者も5~6人からでいい
- ・月に1度くらいなら、なんとか都合できる
- ・そのうち家族も「お茶飲み会なら行っておいで」と言ってくれるようになるかも
- ・自分の地区でやるにも活動メンバーが1人なので不安

役場からのサポートもできますよ

- ・やる事が決まっていれば予算をつけることも可能
- ・もし講師を呼びたいという声がお年寄りからでたら、呼びたい

<今後やりたいこと>

■移動手段

- 行政とPJメンバーが落ち着いて一緒に考える機会を持ちたい
 - ・移動手段の役場での検討の際に、PJメンバーも参加しては?
 - ・住民ニーズをきちんと調査したい
 - ・もっといろいろな人に意見を聞いて決定したらどうか

○提案

- ・小さい車でこまめに送迎
- ・会員制バス
- ・デイサービスの運転手に兼務してもらう

■買い物代行

- ・軽トラ朝市
- ・買い物バスツアー(月一回企画)
買い物ツアースタッフを呼び掛ける
役場のバスを借りる(運転手つきで)
- ・地域通貨の導入

プロジェクト3 道志村のよさをPRし、村民を増やすには

<今までの活動の評価>

- ・何をするのに、気が合い、スムーズに事が運んだ

<悩み・心配事>

- ・もう少しスタッフが増えるとよいと思う。

<今後やりたいこと>

■社協とのタイアップ

- ・案内仕り隊のPR

■役場とのタイアップ

- ・移住したい人へ村を紹介するための暮らし紹介冊子づくり →村民の声を載せる
- ・広報誌に村のいいところを毎月載せる
- ・未来通信を継続して発行する(住民の本音が語られているのはかつてないこと)
- ・いいいたいことポストの設置(村民相互の声が必要)

■その他

- ・子どもにPRする、PRしてもらう
- ・世代を超えた人たちとの話し合い
- ・ネットを使う(ブログ・SNSなど)
- ・道志村ブランドのPR(商品開発、道の駅との提携)